

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 9 月 9 日(2022.9.9)

【公開番号】特開 2021-115005(P2021-115005A)
 【公開日】令和 3 年 8 月 10 日(2021.8.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-036
 【出願番号】特願 2020-7932(P2020-7932)
 【国際特許分類】
 A 63 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
 【提出日】令和 4 年 8 月 30 日(2022.8.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技者による操作対象とされる所定操作部と、
 判定を行う判定手段と、
前記判定手段の判定結果に基づいて図柄変動を実行可能な図柄実行手段と、
 前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与
 する特典付与手段と、
前記所定操作部を摸した摸画像表示を行う摸画像表示手段と、
 前記所定操作部に対する操作受付が許容されうる操作許容状態を発生可能であり、該操
 作許容状態で前記所定操作部に対する操作受付がなされると受付後表示を表示可能な操作
 許容状態実行手段と
を備え、
 前記操作許容状態として、所定の操作許容状態及び特定の操作許容状態が少なくとも用
 意されており、
 前記所定の操作許容状態及び前記特定の操作許容状態のうち前記特定の操作許容状態に
 は、前記所定操作部が前記摸画像表示として表示される摸画像表示区間と、前記所定操作
 部が前記摸画像表示として表示されない秘匿区間との両方が含まれており、
前記特定の操作許容状態において、前記秘匿区間は、前記摸画像表示区間が開始されて
から予め定められた時間が経過したときに現れうるものであり、前記摸画像表示区間内
において前記所定操作部に対して操作受付がなされた場合と、前記秘匿区間内において前記
所定操作部に対して操作受付がなされた場合とでは、前記受付後表示として同じ態様を出
現可能であり、
さらに、
前記所定の操作許容状態及び前記特定の操作許容状態のうち前記特定の操作許容状態は
、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する場合と、前記特定種別の演出音
が非可聴の状態にされているなかで発生する場合との両方があり、
前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特定の操作許容状態が発生した
場合であっても、前記特定種別の演出音は、該特定の操作許容状態が継続しているなかで
非可聴の状態にされうようになり、
さらに、

30

40

50

前記所定の操作許容状態は、当該所定の操作許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動がいずれの変動パターンで実行されていたかに応じて、当該所定の操作許容状態が発生する時点における、前記特定種別の演出音の出力有無が異なることがないよう
になっており、

前記特定の操作許容状態は、当該特定の操作許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第2変動パターンで実行されていた場合は、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかでは発生せず、前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

10

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下を抑制することが求められる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0007】

手段1：遊技者による操作対象とされる所定操作部と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて図柄変動を実行可能な図柄実行手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与
しうの特典付与手段と、

前記所定操作部を摸した摸画像表示を行う摸画像表示手段と、

前記所定操作部に対する操作受付が許容されうる操作許容状態を発生可能であり、該操
作許容状態で前記所定操作部に対する操作受付がなされると受付後表示を表示可能な操
作許容状態実行手段と

30

を備え、

前記操作許容状態として、所定の操作許容状態及び特定の操作許容状態が少なくとも用
意されており、

前記所定の操作許容状態及び前記特定の操作許容状態のうち前記特定の操作許容状態に
は、前記所定操作部が前記摸画像表示として表示される摸画像表示区間と、前記所定操
作部が前記摸画像表示として表示されない秘匿区間との両方が含まれており、

前記特定の操作許容状態において、前記秘匿区間は、前記摸画像表示区間が開始されて
から予め定められた時間が経過したときに現れうるものであり、前記摸画像表示区間内
において前記所定操作部に対して操作受付がなされた場合と、前記秘匿区間内において前
記所定操作部に対して操作受付がなされた場合とでは、前記受付後表示として同じ態様を出
現可能であり、

40

さらに、

前記所定の操作許容状態及び前記特定の操作許容状態のうち前記特定の操作許容状態は
、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する場合と、前記特定種別の演出音
が非可聴の状態にされているなかで発生する場合との両方があり、

前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特定の操作許容状態が発生した
場合であっても、前記特定種別の演出音は、該特定の操作許容状態が継続しているなかで
非可聴の状態にされうようになっており、

さらに、

50

前記所定の操作許容状態は、当該所定の操作許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動がいずれの変動パターンで実行されていたかに応じて、当該所定の操作許容状態が発生する時点における、前記特定種別の演出音の出力有無が異なることがないようになっている。

前記特定の操作許容状態は、当該特定の操作許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第2変動パターンで実行されていた場合は、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかでは発生せず、前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50